

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科/インテリアデザイン専攻											
デザイン論1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	窪田 雅代			実務 経験	有	職種	インテリアコーディネーター				
授業概要											
<p>インテリアデザイナー・コーディネーターとしての基礎知識を学ぶ事により、今後のスキルアップの土台を築く。また、インテリアコーディネーターとしてどのように社会へ携わり、貢献していくのかを学び、視野を広げる。 インテリアデザイン・インテリアコーディネーターに直結する基礎知識、役割、インテリアを販売するうえで必要となる知識を学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>講義を通じてインテリアデザイナー・コーディネーターとしての役割や知識を学び、現代社会の抱える問題や求められている価値観等、時代に合った提案や生活者目線を忘れず、お客様の寄り添った姿勢の大切さを知る。 2年次に受験するインテリアコーディネーター資格取得を目指し、基礎学力を身に付ける。</p>											
授業方法											
<p>インテリアデザイン・インテリアコーディネーターに直結する基礎知識、役割、インテリアを販売するうえで必要となる知識を学ぶ。</p>											
成績評価方法											
試験・レポート	60%	レポート、試験、課題を総合的に評価する									
ワーク、小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>各單元ごとに小テストを行い、知識の定着を図る。Googleclassroomにて資料（スライド）の共有を図り、各自印刷をし講義、生徒の家庭学習としても活用する。授業時数の3/4以上出席しない生徒は、定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
教科書：インテリアコーディネーターハンドブック											
回数	授業計画										
第1回	インテリアコーディネーターの誕生と背景 / インテリアコーディネーターの業務の流れや役割										
第2回	インテリアコーディネーターの業務の流れや役割 / インテリアコーディネーターの業務の流れや役割										
第3回	インテリアの歴史① / 日本の歴史—古代～中世の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ										
第4回	インテリアの歴史② / 日本の歴史—近世～第二次世界大戦後の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ										
第5回	インテリアの歴史③ / 西洋の歴史—古代～近世の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ										
第6回	インテリアの歴史④ / 西洋の歴史—古代～近世の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/インテリアデザイン専攻	
デザイン論1	
第7回	インテリアコーディネーションの計画① / 生活像と空間像、人体・動作寸法の検討を通じて人間工学を学び、寸法感覚を身に付ける
第8回	インテリアコーディネーションの計画② / 生活像と空間像、人体・動作寸法の検討を通じて人間工学を学び、寸法感覚を身に付ける
第9回	インテリアコーディネーションの計画③ / 家具・機器の人間工学面の特性について学び、人体工学と日常生活の関係を理解し家具についての知識を深める
第10回	インテリアコーディネーションの計画④ / 空間の配置と規模、寸法について学び、適切なレイアウトや動線、プランニングへの理解を深める
第11回	インテリアコーディネーションの計画⑤ / 造形の基本原理を学び、より深い提案力をもったインテリアデザイナー・コーディネーターを目指す
第12回	インテリアコーディネーションの計画⑥ / 色彩・安全性について学び、より安全に住まう為にどんな事に配慮すべきかを理解する
第13回	インテリアコーディネーションの計画⑦ / コストと維持管理、生活場面や生活様式について学び、益々多様化する現代に対応した視点の大切さを理解する
第14回	インテリアコーディネーションの計画⑧ / 各個室の生活場面を理解し適切な提案力を身に付ける。リフォームについてその必要性と内容を理解し知識を付ける
第15回	期末試験 / 後期単元の総まとめ。理解度、定着度を確認し、来年度の資格試験対策に繋げる